

障害福祉サービス提供事業所等調査

和歌山県全域集計結果(継続入所系)

16. 共同生活援助

県全域集計

継続入所系

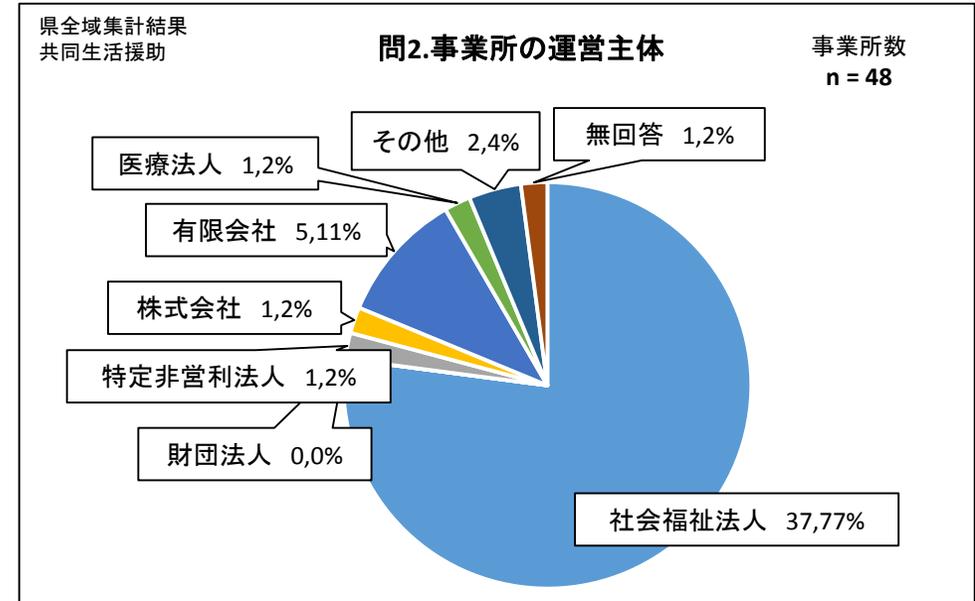
配布数	有効回答数	有効回答率
77	48	62.3%

16. 共同生活援助

問2	運営主体	「社会福祉法人」77%、「有限会社」11%、他の法人等は少数～0%。
問3	所在地	「西牟婁圏域」29%、「那賀圏域」21%と多く、次いで「和歌山・伊都・東牟婁圏域」となっている。他の圏域については少数。
問4	契約者数(18歳以上)	「1～10人」が66.7%と大半を占めている。次いで「11～20人」16.7%、「21～30人」8.3%、「31人以上」は少数。「100人以上」は0%。
問5	職員体制	「1～30人」が88%と大半、「31～60人」6%、「61～120人」0%。「無回答」は6%。
問6	医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否	「不可能」が94%、「可能」は6%。
問7	提供可能な医療的ケア	「服薬管理」が100%、他のケアについては0%。
問8	医療的ケアを受けている年齢層(18歳以上)	「40～64歳」80%、「18～39歳」20%。
問9	障害者手帳と等級(18歳以上)	精神保健福祉手帳が大半で、身体障害者手帳、療育手帳は少数である。
問10	障害支援区分(18歳以上)	「区分2」が45.7%とほぼ半数を占め、次いで「区分3」34.3%、他の区分は少数～0%。
問11	提供している医療的ケア内容(18歳以上)	「服薬管理」が100%、他のケアについては0%。
問12	超重症児・準超重症児	該当しない
問13	医療的ケアが必要な方の利用についての課題	「人員不足で医療的ケア研修に出せない」、「医療的ケア研修の機会が少ない」、「提供できる医療的ケア内容が限定されている」が各66.7%と半数を超えている。「1・5・8」についても33%の回答がある。
問14	医療的ケアが必要な方が利用できない理由	「担当看護師確保が困難」が71.1%と最も多く、次いで「身体介護の経験が無い」が64.4%、「設備改修が必要なため」が62.2%、「利用対象としていない」が55.6%の回答。その他の理由の回答もみられる。
問15-①	災害対策マニュアルの定期的な見直し	「行っている」が52%、「行っていない」が31%、「マニュアルがない」が10%、「これから作成する」が4%。
問15-②	被災時に備蓄をしている物	「食料」が75.6%と最も多く、次いで「薬」が35.6%、他の物品については10%未満で、0%の物もある。
問16	医療的ケアが必要な方が安心して生活する為の改善点	「1・2・3・4」について、半数を超える回答がある。
	傾向と評価	事業所の運営主体は社会福祉法人が大半であり、所在地は全ての圏域となっている。サービス提供については、不可能が94%、可能が6%である。提供している医療的ケアについては、服薬管理のみで他のケアは0%である。利用している方の年齢層は、40～64歳が80%、18～39歳が20%である。利用についての課題は、人員不足で医療的ケア研修に出せない、提供できる医療的ケア内容が限定されている等となっている。

問2. 事業所の運営主体

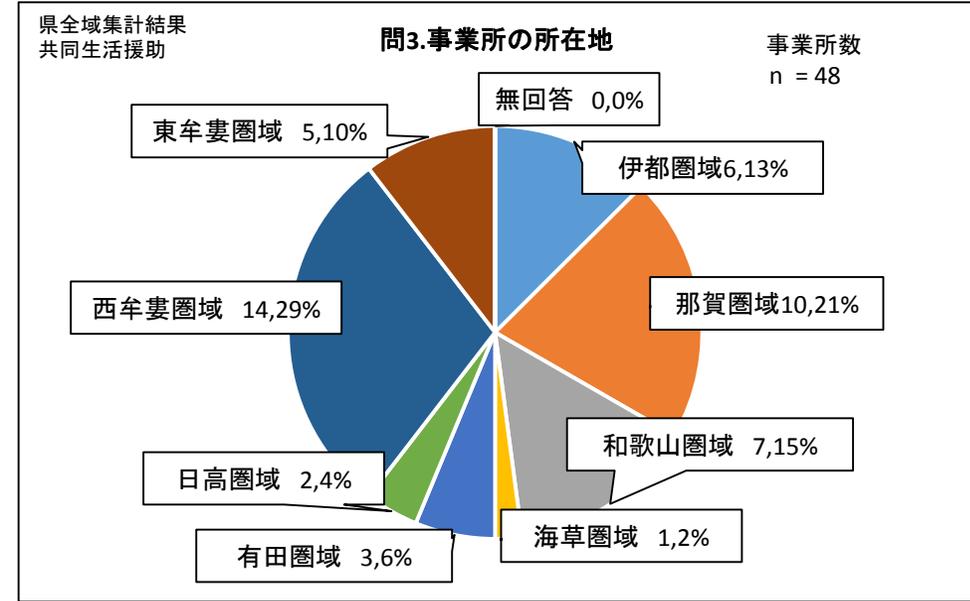
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
社会福祉法人	6	10	0	0	2	2	13	4	37	77.1%
財団法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
特定非営利法人	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2.1%
株式会社	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.1%
有限会社	0	0	5	0	0	0	0	0	5	10.4%
医療法人	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2.1%
その他	0	0	2	0	0	0	0	0	2	4.2%
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2.1%
事業所数合計	6	10	7	1	3	2	14	5	48	100%



問2	運営主体	「社会福祉法人」77%、「有限会社」11%、他の法人等は少数～0%。
----	------	------------------------------------

問3.事業所の所在地

所在地	事業所数	%
伊都圏域	6	12.5%
那賀圏域	10	20.8%
和歌山圏域	7	14.6%
海草圏域	1	2.1%
有田圏域	3	6.3%
日高圏域	2	4.2%
西牟婁圏域	14	29.2%
東牟婁圏域	5	10.4%
無回答	0	0.0%
事業所数合計	48	100.0%



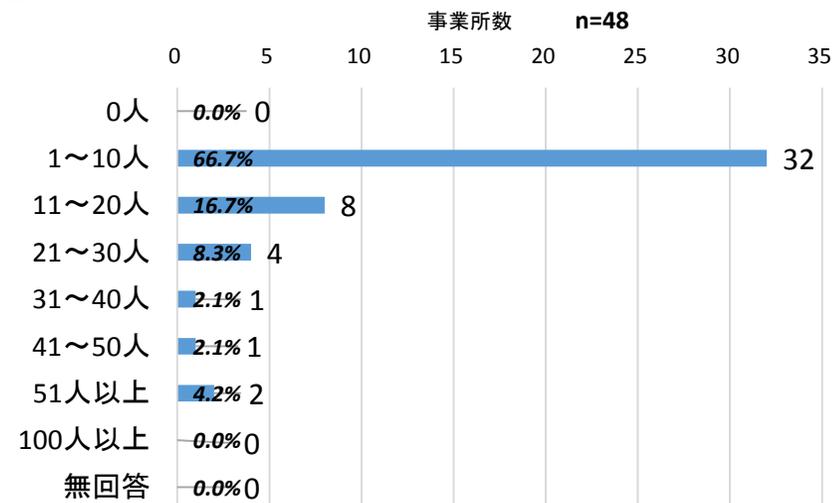
問3	所在地	「西牟婁圏域」29%、「那賀圏域」21%と多く、次いで「和歌山・伊都・東牟婁圏域」となっている。他の圏域については少数。
----	-----	--

問4. サービスを利用している契約者数(18歳以上)

	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
0人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
1～10人	4	10	6	1	1	0	7	3	32	66.7%
11～20人	2	0	1	0	1	0	3	1	8	16.7%
21～30人	0	0	0	0	0	0	3	1	4	8.3%
31～40人	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2.1%
41～50人	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2.1%
51人以上	0	0	0	0	0	1	1	0	2	4.2%
100人以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	6	10	7	1	3	2	14	5	48	100.0%

県全域集計結果
共同生活援助

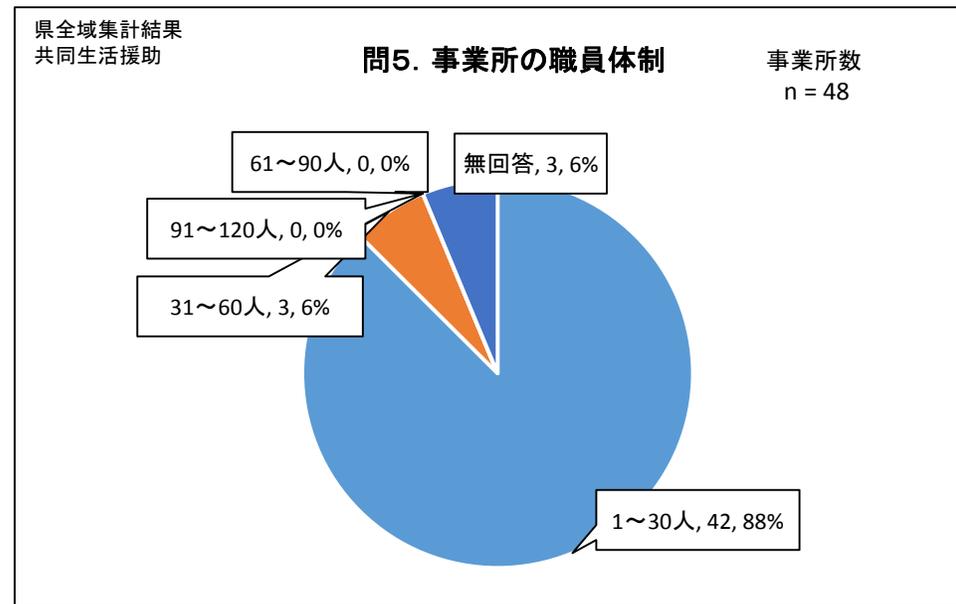
問4. サービス利用契約者数(18歳以上)



問4	契約者数(18歳以上)	「1～10人」が66.7%と大半を占めている。次いで「11～20人」16.7%、「21～30人」8.3%、「31人以上」は少数。「100人以上」は0%。
----	-------------	--

問5.事業所の職員体制

	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1～30人	4	10	7	1	3	0	13	4	42	87.5%
31～60人	0	0	0	0	0	2	1	0	3	6.3%
61～90人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
91～120人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
無回答	2	0	0	0	0	0	0	1	3	6.3%
事業所数合計	6	10	7	1	3	2	14	5	48	100.0%



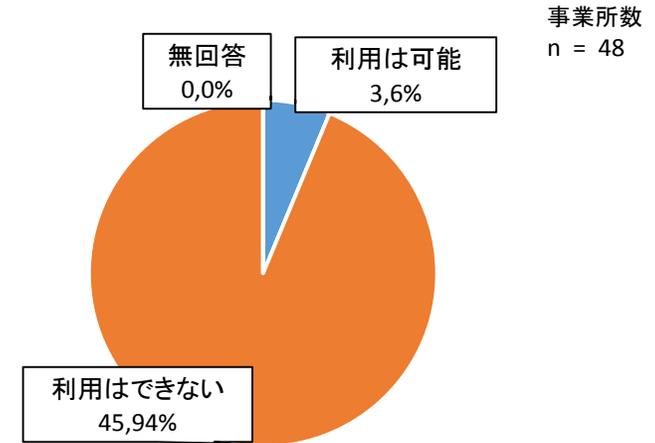
問5	職員体制	「1～30人」が88%と大半、「31～60人」6%、「61～120人」0%。「無回答」は6%。
----	------	---

問6. 医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否

	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
利用は可能	2	0	1	0	0	0	0	0	3	6.3%
利用はできない	4	10	6	1	3	2	14	5	45	93.8%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	6	10	7	1	3	2	14	5	48	100.0%

県全域集計結果
共同生活援助

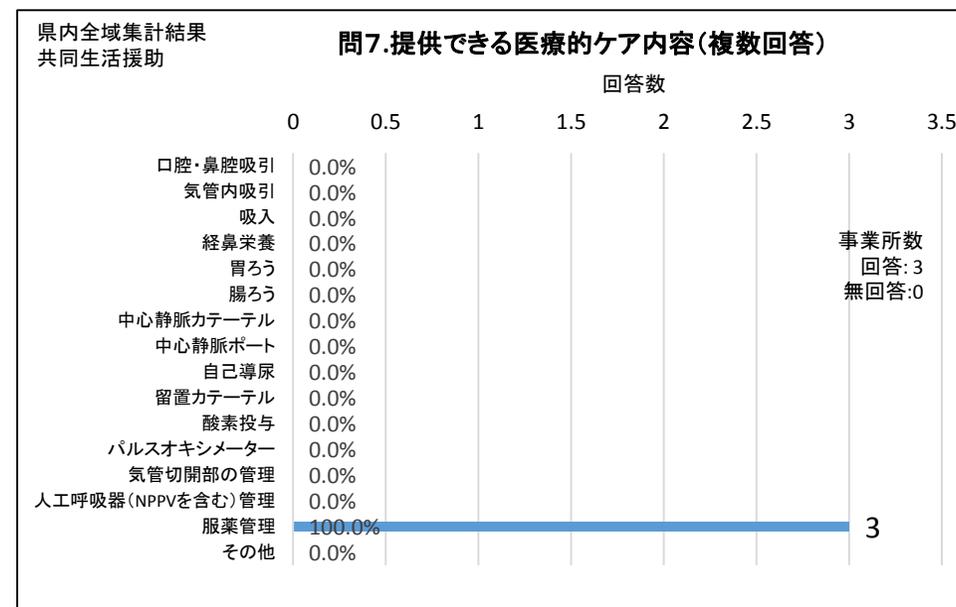
問6.医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否



問6	医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否	「不可能」が94%、「可能」は6%。
----	--------------------------	--------------------

問7. 提供可能な医療的ケアの内容(複数回答)

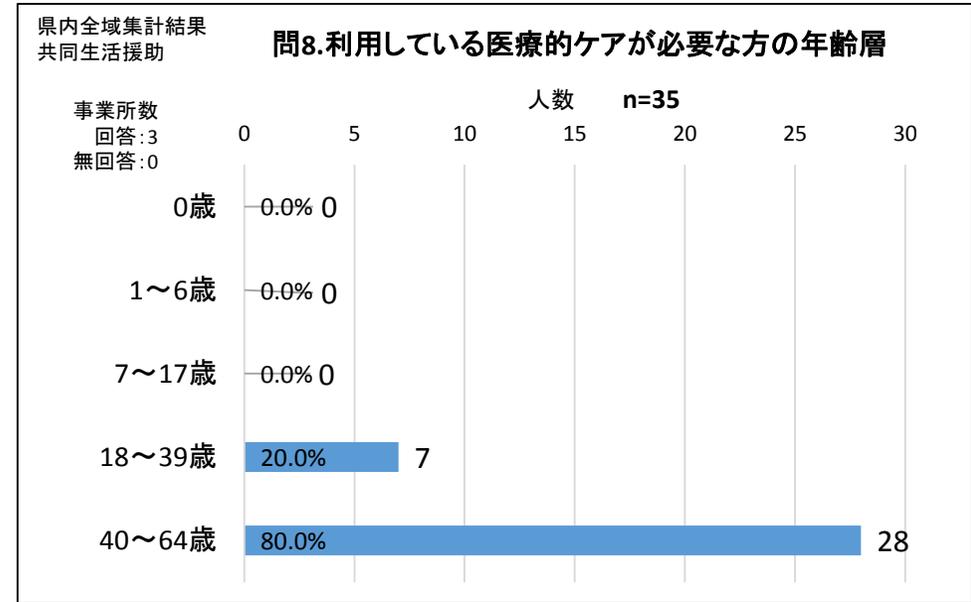
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
吸引	口腔・鼻腔吸引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	気管内吸引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	吸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
経管栄養	経鼻栄養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	胃ろう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	腸ろう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
中心静脈 栄養	カテーテル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	ポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
導尿	自己導尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	留置カテーテル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	酸素投与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	パルスオキシメーター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	気管切開部の管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	人工呼吸器(NPPVを 含む)管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	服薬管理	2	0	1	0	0	0	0	0	3	100.0%
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	回答事業所数	2	0	1	0	0	0	0	0	3	
	無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業所数合計	2	0	1	0	0	0	0	0	3	



問7	提供可能な医療的ケア	「服薬管理」が100%、他のケアについては 0%。
----	------------	---------------------------

問8. 利用している医療的ケアが必要な方の年齢層別利用者数(複数回答)
 ※(圏域事業所の合計人数)(18歳以上)

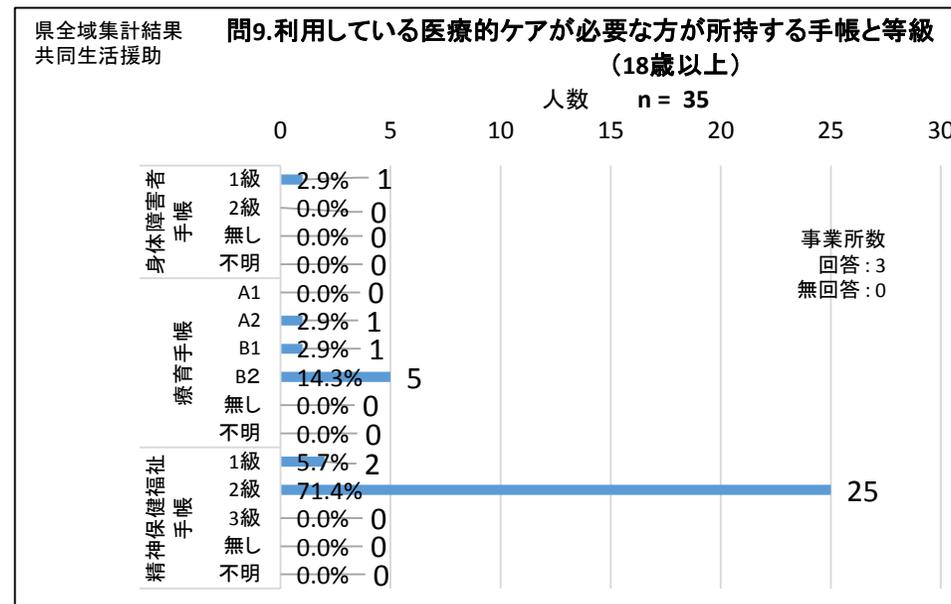
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
1～6歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
7～17歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
18～39歳	7	0	0	0	0	0	0	0	7	20.0%
40～64歳	16	0	12	0	0	0	0	0	28	80.0%
合計人数	23	0	12	0	0	0	0	0	35	100.0%
回答事業所数	2	0	1	0	0	0	0	0	3	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	2	0	1	0	0	0	0	0	3	



問8	医療的ケアを受けている年齢層 (18歳以上)	「40～64歳」80%、「18～39歳」20%。
----	---------------------------	--------------------------

問9. 医療的ケアが必要な方の障害者手帳と等級 ※(圏域事業所の合計人数)(18歳以上)

		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
身体障害者 手帳	1級	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2.9%
	2級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
療育手帳	A1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	A2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2.9%
	B1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2.9%
	B2	3	0	2	0	0	0	0	0	5	14.3%
	無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
精神保健福祉 手帳	1級	0	0	2	0	0	0	0	0	2	5.7%
	2級	17	0	8	0	0	0	0	0	25	71.4%
	3級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	合計人数	23	0	12	0	0	0	0	0	35	100.0%
回答事業所数	2	0	1	0	0	0	0	0	3		
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業所数合計	2	0	1	0	0	0	0	0	3		

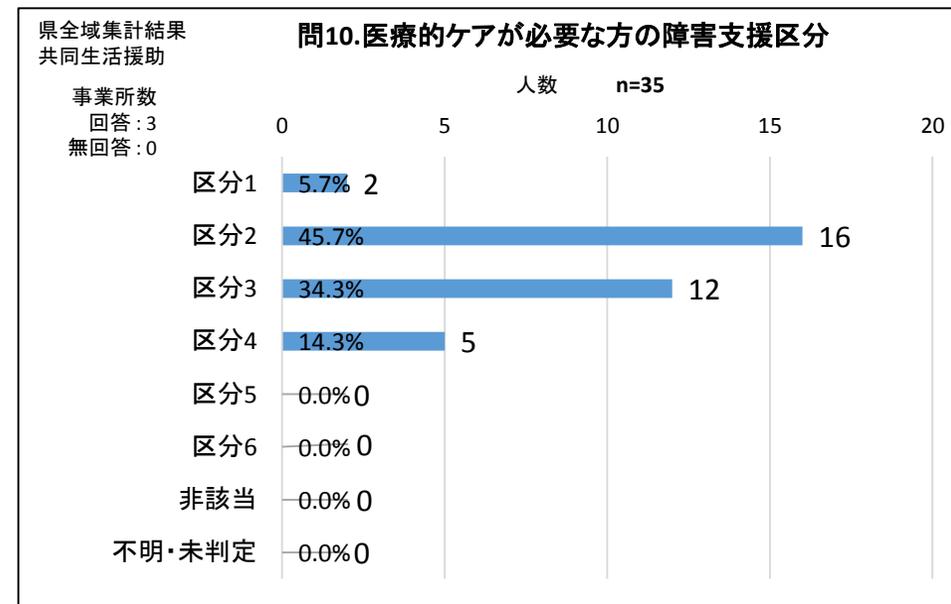


問9	障害者手帳と等級 (18歳以上)	精神保健福祉手帳が大半で、身体障害者手帳、療育手帳は少数である。
----	---------------------	----------------------------------

問10. 医療的ケアが必要な方の障害者総合支援法による障害支援区分(程度区分)

※(圏域事業所の合計人数)(18歳以上)

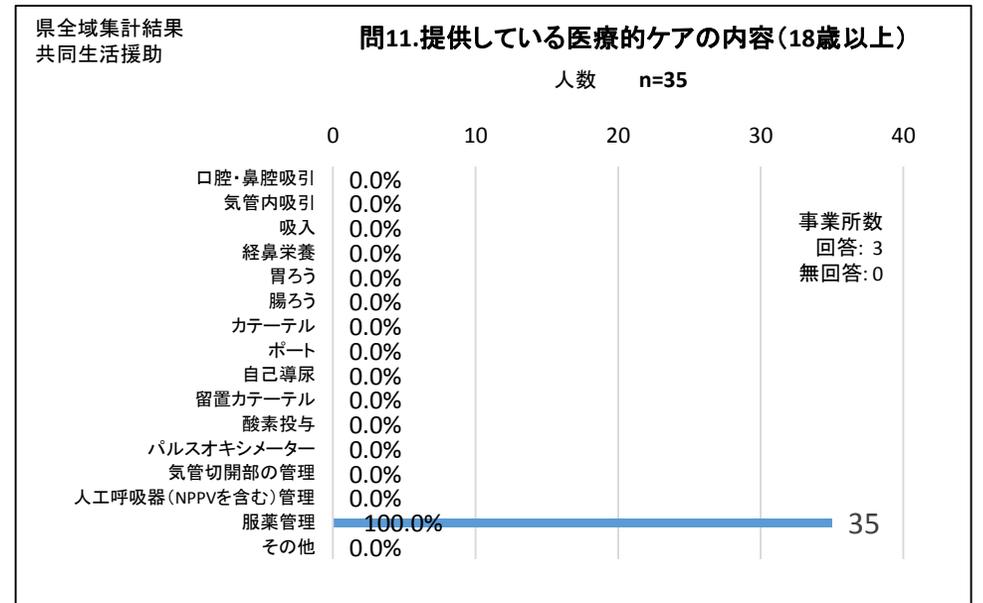
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
区分1	1	0	1	0	0	0	0	0	2	5.7%
区分2	11	0	5	0	0	0	0	0	16	45.7%
区分3	10	0	2	0	0	0	0	0	12	34.3%
区分4	1	0	4	0	0	0	0	0	5	14.3%
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
不明・未判定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計人数	23	0	12	0	0	0	0	0	35	100.0%
回答事業所数	2	0	1	0	0	0	0	0	3	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	2	0	1	0	0	0	0	0	3	



問10	障害支援区分 (18歳以上)	「区分2」が45.7%とほぼ半数を占め、次いで「区分3」34.3%、他の区分は少数～0%。
-----	-------------------	---

問11. 医療的ケアが必要な方に提供しているサービスの内容と利用者数(18歳以上)
 ※(圏域事業所の合計人数)

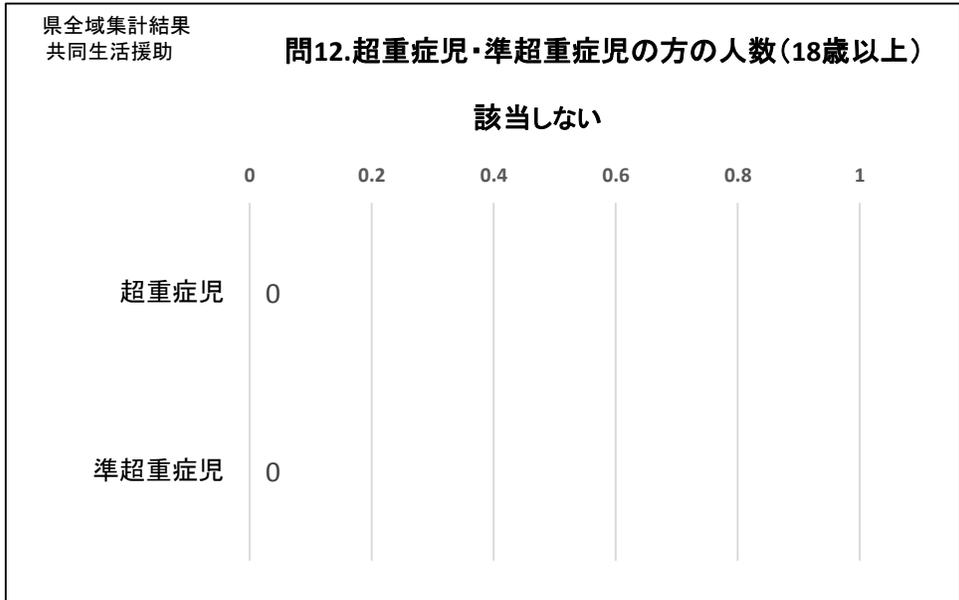
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
吸引	口腔・鼻腔吸引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	気管内吸引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
吸入	吸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
経管栄養	経鼻栄養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	胃ろう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	腸ろう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
中心静脈 栄養	カテーテル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	ポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
導尿	自己導尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	留置カテーテル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	酸素投与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	パルスオキシメーター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	気管切開部の管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	人工呼吸器(NPPVを 含む)管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	服薬管理	23	0	12	0	0	0	0	0	35	100.0%
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	合計人数	23	0	12	0	0	0	0	0	35	100.0%
回答事業所数	2	0	1	0	0	0	0	0	3		
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業所数合計	2	0	1	0	0	0	0	0	3		



問11	提供している医療的ケア内容 (18歳以上)	「服薬管理」が100%、他のケアについては0%。
-----	--------------------------	--------------------------

問12. 超重症児・準超重症児の方の人数(18歳以上) **該当しない**

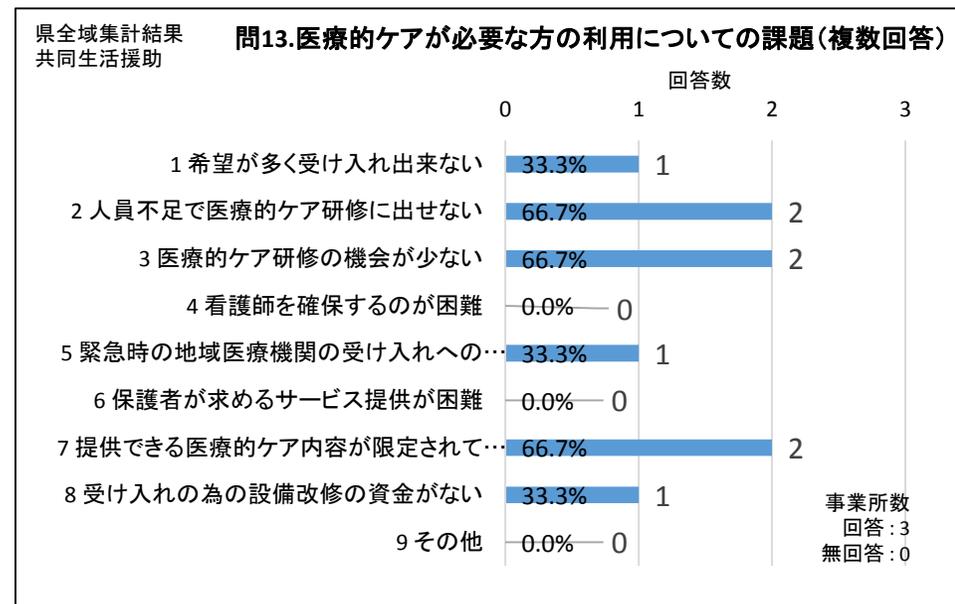
	県内全域合計	%
超重症児	0	0%
準超重症児	0	0%
合計人数	0	0%
回答事業所数	0	0%
無回答事業所数	0	0%
事業所数合計	0	0%



問12	超重症児・準超重症児 (18歳以上)	該当しない
-----	-----------------------	-------

問13. 医療的ケアが必要な方の利用について課題となっている内容(複数回答)

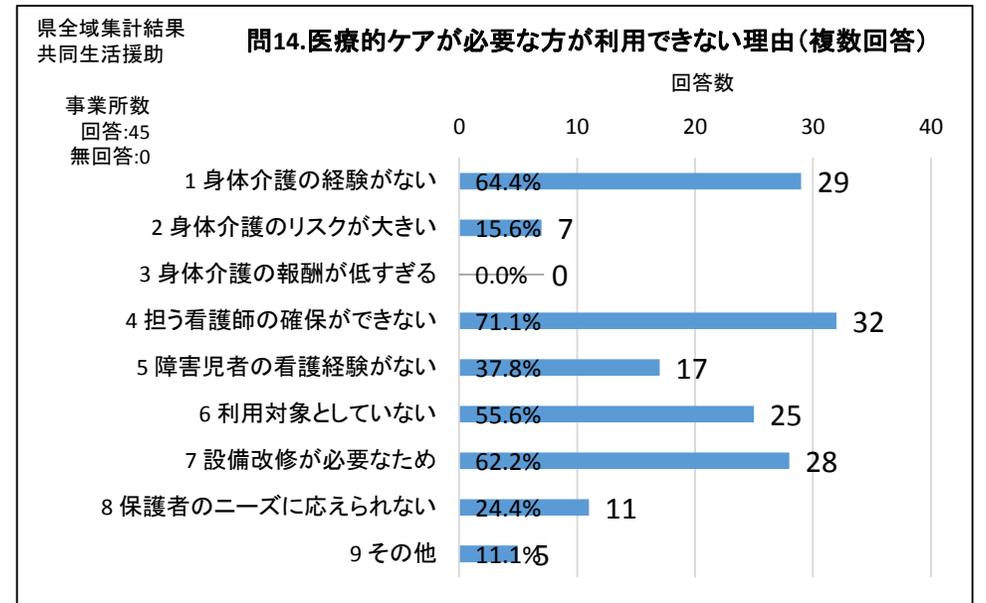
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1.希望が多く受け入れできない	0	0	1	0	0	0	0	0	1	33.3%
2.人員不足で医療的ケア研修に出せない	2	0	0	0	0	0	0	0	2	66.7%
3.医療的ケア研修の機会が少ない	2	0	0	0	0	0	0	0	2	66.7%
4.看護師を確保するのが困難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
5.緊急時の地域医療機関の受け入れへの不安	1	0	0	0	0	0	0	0	1	33.3%
6.保護者が求めるサービス提供が困難な者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
7.提供できる医療的ケア内容が限定されている	2	0	0	0	0	0	0	0	2	66.7%
8.受け入れの為に設備改修の資金がない	0	0	1	0	0	0	0	0	1	33.3%
9.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
回答事業所数	2	0	1	0	0	0	0	0	3	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	2	0	1	0	0	0	0	0	3	



問13	医療的ケアが必要な方の利用についての課題	「人員不足で医療的ケア研修に出せない」、「医療的ケア研修の機会が少ない」、「提供できる医療的ケア内容が限定されている」が各66.7%と半数を超えている。 「1・5・8」についても33%の回答。
-----	----------------------	---

問14.医療的ケアが必要な方が利用できない理由(複数回答)

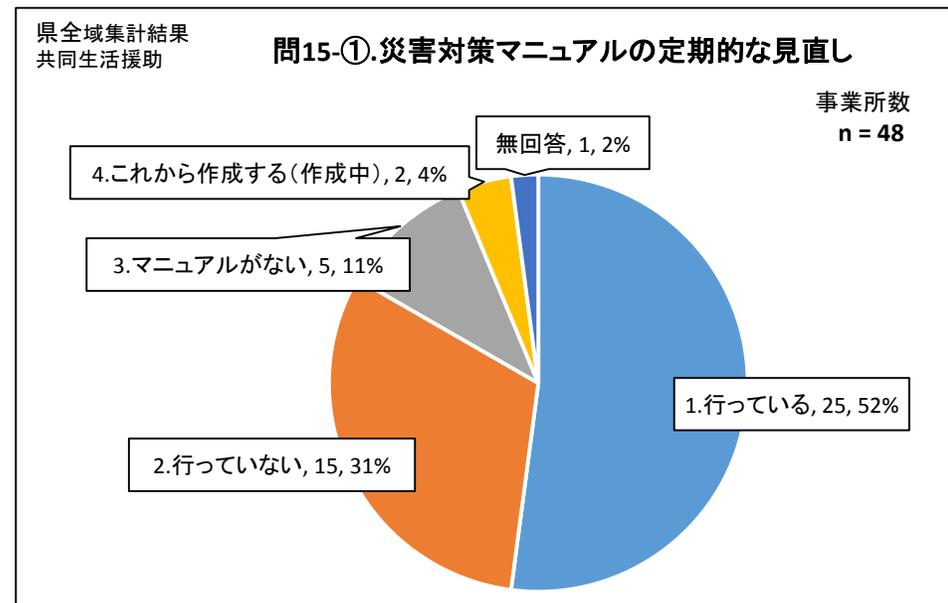
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1.医療的ケアが必要な障害児者の身体介護の経験がない	4	9	2	0	1	0	10	3	29	64.4%
2.医療的ケアが必要な障害児者の身体介護はリスクが大きい	1	0	0	0	1	0	4	1	7	15.6%
3.医療的ケアが必要な障害児者の身体介護の報酬が低すぎる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
4.医療的ケアを担う看護師の確保ができない	4	9	4	0	3	2	10	0	32	71.1%
5.医療的ケアが必要な障害児者の看護経験がない	1	5	4	0	0	0	6	1	17	37.8%
6.事業所として医療的ケアが必要な障害児者を利用対象としていない	0	6	4	1	2	0	10	2	25	55.6%
7.医療的ケアを実施するために設備改修が必要なため	4	9	4	0	1	0	10	0	28	62.2%
8.保護者が求める看護(介護)ニーズに応えられない	4	1	4	0	0	0	2	0	11	24.4%
9 その他	3	0	1	0	1	0	0	0	5	11.1%
回答事業所数	4	10	6	1	3	2	14	5	45	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	4	10	6	1	3	2	14	5	45	



問14	医療的ケアが必要な方が利用できない理由	「担う看護師確保が困難」が71.1%と最も多く、次いで「身体介護の経験が無い」が64.4%、「設備改修が必要なため」が62.2%、「利用対象としていない」が55.6%の回答。その他の理由の回答もみられる。
-----	---------------------	--

問15-①.事業所の災害対策マニュアルの定期的な見直しについて

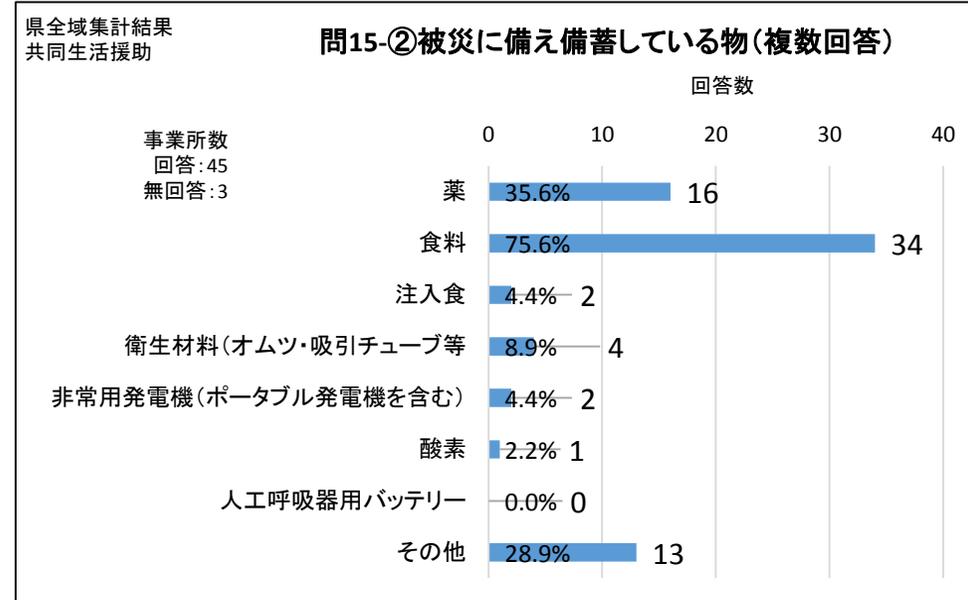
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1.行っている	3	3	6	0	2	1	7	3	25	52.1%
2.行っていない	0	7	0	0	1	0	5	2	15	31.3%
3.マニュアルがない	3	0	1	1	0	0	0	0	5	10.4%
4.これから作成する (作成中)	0	0	0	0	0	0	2	0	2	4.2%
無回答	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2.1%
事業所数合計	6	10	7	1	3	2	14	5	48	100.0%



問15-①	災害対策マニュアルの定期的な見直し	「行っている」が52%、「行っていない」が31%、「マニュアルがない」が10%、「これから作成する」が4%。
-------	-------------------	--

問15-②.被災に備え備蓄しているもの(複数回答)

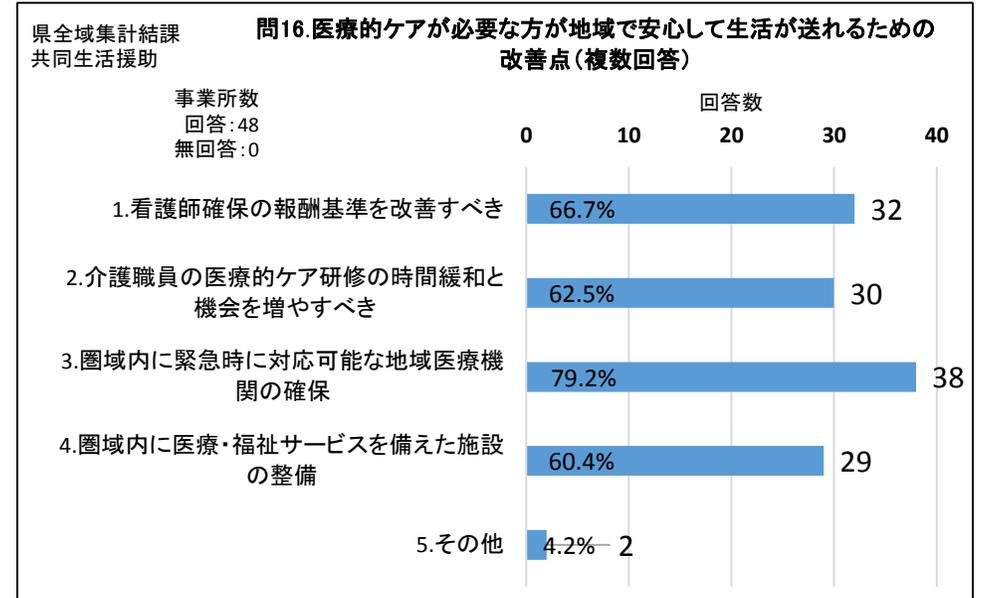
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
薬	2	0	5	0	1	1	6	1	16	35.6%
食料	5	5	6	1	3	2	9	3	34	75.6%
注入食	2	0	0	0	0	0	0	0	2	4.4%
衛生材料(オムツ・吸引チューブ等)	2	1	0	0	0	1	0	0	4	8.9%
非常用発電機(ポータブル発電機を含む)	0	0	0	0	0	0	1	1	2	4.4%
酸素	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2.2%
人工呼吸器用バッテリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	3	4	1	0	1	0	2	2	13	28.9%
回答事業所数	6	10	6	1	3	2	13	4	45	
無回答事業所数	0	0	1	0	0	0	1	1	3	
事業所数合計	6	10	7	1	3	2	14	5	48	



問15-②	被災時に備蓄をしている物	「食料」が75.6%と最も多く、次いで「薬」が35.6%、他の物品については10%未満で、0%の物もある。
-------	--------------	---

問16. 医療的ケアが必要な方が地域で安心して生活を送れるようになるための改善点(複数回答)

	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1.医療的ケアに従事する看護師を安定的に確保できるよう診療報酬を改善すべき	4	6	6	1	2	1	9	3	32	66.7%
2.医療的ケアが実施できる介護職員が増えるよう、介護職員の医療的ケア研修時間の緩和、研修機会を増やすべき	6	10	3	0	2	2	5	2	30	62.5%
3.一定の圏域内に緊急時に対応可能な地域医療機関を確保すべき	6	9	6	0	2	1	10	4	38	79.2%
4.圏域内に医療・訪問看護・通園事業・居宅介護、短期入所、移動支援、相談支援等の機能を備えた施設の整備をすべき	5	6	3	0	3	1	8	3	29	60.4%
5 その他	0	0	1	0	0	0	0	1	2	4.2%
回答事業所数	6	10	7	1	3	2	14	5	48	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	6	10	7	1	3	2	14	5	48	



問16	医療的ケアが必要な方が安心して生活する為の改善点	「1・2・3・4」について、半数を超える回答がある。
-----	--------------------------	----------------------------

傾向と評価	<p>事業所の運営主体は社会福祉法人が大半であり、所在地は全ての圏域となっている。サービス提供については、不可能が94%、可能が6%である。</p> <p>提供している医療的ケアについては、服薬管理のみで他のケアは0%である。</p> <p>利用している方の年齢層は、40～64歳が80%、18～39歳が20%である。</p> <p>利用についての課題は、人員不足で医療的ケア研修に出せない、提供できる医療的ケア内容が限定されている等となっている。</p>
-------	--